



囲いで踊る

@方丈庵

14:10~

東野高等学校
建築ツアー

13:00~



方丈庵・〈き〉がわりの假具で

自在の間を楽しむ

@IRUMA

茶室のことを囲いとも呼ぶのは、足利時代、貴族住宅で定法だった三間四方七八帖の室を四分して屏風で囲い茶道を楽しんだことによります。その囲いの広さは鴨長明が隠遁生活を送った方丈の庵と同じです。その囲いを現代に甦らせるかどうか、桂離宮の昭和の大修理に携わった安井清さんが考案した現代の方丈庵を入間市博物館 ALIT のロビーに組み立てて紹介します。密談から茶道まで、往時の囲いが貴族生活の様々な場面で活用されていたように、現代の方丈庵がそこにあれば、ダンスに茶道、現代の生活文化との競演で、自在の「間」を楽しんでいただけたらと思います。



〈き〉がわりの假具

囲いを語る

@講座室

15:00~

方丈庵平面図

2010年9月25日(土)

入間市博物館 ALIT

西武池袋線 入間市駅(2番乗り場)よりバスで20分。「入間市博物館」または「二本木」バス停下車 <http://www.alit.city.iruma.saitama.jp>

無料、事前申込不要(建築ツアーは除く)

主催:「交差する風・織りなす場」実行委員会

協力:入間市博物館 ALIT、東野高等学校、埼玉県舞踊協会、入間市茶道連盟

企画協力:やすいきよし事務所、内田祥哉建築研究室、丸二、さわの道玄、西澤工務店、新木場倶楽部、山康商店、日本建築家協会埼玉地域会

問い合わせ:埼玉県立近代美術館内「交差する風・織りなす場」実行委員会事務局

tel: 048-824-0110 / e-mail: SMF.info@artplatform.jp

煎茶 Hako 手前

@方丈庵

16:10~

抹茶 Air 点前

@方丈庵

9/26(日) 11:00~

SMFは身近な場所でアートを楽しむ支援し再創造するプラットフォームをめざしています。

<http://artplatform.jp>

方丈庵・〈き〉がわりの假具で自在の間を楽しむ @IRUMA

2010年9月25日(土) 人間市博物館 ALIT 埼玉県人間市大字二本木 100 番地 無料、事前申込不要 (建築ツアーは除く)

方丈庵と〈き〉がわりの假具は9月23日(木)～24日(金)に組み立てます。いずれもセルフビルドができるような仕組みの囲いです。組み立ててに参加ご希望の方は日本建築家協会埼玉地域会 (JIA埼玉) tel & fax 048-882-7526までご連絡下さい。なお方丈庵・〈き〉がわりの假具の展示は10月3日(日)までご覧いただけます。

自 在の間を楽しむ、それは組み立てて、解体して、また組み立てられる部屋、つまり假設の楽しみです。日常的な住まいの空間に、入れ子のように組み立てて、その変化を楽しみ、邪魔になら解体してしまえるような仕組みが日本の建築文化の伝統にあります。その二つが囲いの文化です。ここでは二つの囲いを紹介します。

そ の二つが、セセッション時代の建築家(藤井厚や堀口捨己)の和洋融合の理念を今日に伝えるべく、和の空間に精粋な京文化の技術が応用した囲い、安井清提案の方丈庵。芸術が統合されて空間を創るというセセッションの理念を今日の住生活に持ち込めるスタイルにしようという発想から創られた現代の方丈庵は二丈(三メートル)四方の囲いで、壁面素材には京唐紙を用い、宗旦の色紙窓など、和の粹美な空間要素をそこに取り入れたもので、京数寄屋を隅から隅まで知りつくした安井清さんならではの囲いです。

も う一つは一度しかない人生なのだから、住まう空間はその時その時に対応し、したがってその寿命は短ければ短い方がよいという観点から提案された囲い(へき)がわりの假具。内田祥哉建築研究室で開発した繰り返し組み立て解体できるアルミの間仕切のシステムを利用し、そこにセルフビルドで空間を構成する仕組みを工夫したものです。気分、季節、時期それぞれの(へき)に応じて室内を組み替えることができ、その意味で假設の囲いです。

前 者は素材の精微なテクスチャーに特徴があり、後者は構成の組み立て取り外しの妙に特徴がありますが、住まいの中に利他的な「間」をつくりだし、それによって住まいに何らかの変化を及ぼそうとする目的は同じです。この二つの囲いを合体させて、新しい自在の間を見ていただきたいと思えます。

東野高等学校建築ツアー

13:00～ 東野高等学校建築ツアー
12:45 集合。人間市博物館ALIT エントランスホール

「パターン・ランゲージ」の提唱者として名高い建築家クリストファー・アレクザンダー設計の東野高等学校。太鼓橋のかかる池の周囲に門・回廊・瓦屋根の教室棟が配された類例のない学校建築です。専門家のガイドでこのユニークな建築の魅力を探ります。



講師：津村泰範

1972年 埼玉県に生まれる。1997年 東京大学大学院修士課程修了。降幡建築設計事務所勤務を経て、現在、(株)文化財保存計画協会主任研究員。

定員20名(事前申込制・先着順)。住所・氏名・連絡先電話番号を明記し、メール(SMF.info@artplatform.jp)またはfax(048-824-0118)で「SMF東野高等学校建築ツアー係」まで、お申し込みください。

囲いで踊る @方丈庵

14:10～14:50
舞踊：ダンスユニット「転々」

「転々」は、様々な場の特性に応じた小作品を発表しているダンスユニットです。「囲いで踊る@方丈庵」では、江積志織、海保文江、榎川真理子、桜井陽、佐々木治子、藤井香、松元日奈子が、楽しいひとときをお届けします。



囲いを語る @講座室

15:00～ ビデオメッセージ：安井清+内田祥哉「方丈庵を語る」/
独り語り「臨機応変」内田祥哉
14:30 開室。定員100名(当日先着順)

安井清

1925年 京都府に生まれる。1945年 立命館大学卒業。家業の安井木工務店入社、2001年退社。熊本県立球磨工業高等学校特別講師、京都精華大学客員教授などを歴任。現在、(株)やすいきよし事務室代表取締役、「清塾」代表。著書:「伝統建築と日本人の知恵」

内田祥哉

1925年 東京都に生まれる。1947年 東京帝国大学第一工学部建築学科卒業。通信省管轄部、日本電信電話公社を経て、東京大学教授、明治大学教授、金沢美術工芸大学教授を歴任。現在、工学院大学特任教授、金沢美術工芸大学特認教授、東京大学名誉教授。著書:「建築構法」、「現代建築の造られ方」、「建築生産のオープンシステム」、「日本の伝統建築の構法」他多数



対談する安井清さん(左)と内田祥哉さん

煎茶Hako手前 @方丈庵

抹茶Air点前 @方丈庵

煎茶Hako手前@方丈庵 抹茶Air点前@方丈庵
16:10～ [人間市茶道連盟] 9/26(日) 11:00～ [人間市茶道連盟]

人間市博物館ALIT “秋のお茶まつり” 問い合わせ:04-2934-7711

9月25日(土) 月見の茶会[人間市茶道連盟・人間市博物館ボランティア会] 16:00より受付開始(事前申込制・募集終了)。16:30～20:30 抹茶@青丘庵/煎茶@池の上野点席。その他、手揉み茶実演会[八木手揉み茶道場(人間市茶道連盟・人間市博物館ボランティア会)] 10:00～16:00 @玄関前屋根下/紅茶デモンstrーション[日本紅茶協会] 11:00・13:30(2回実施) @中庭/特別展『野生植物で語る武蔵野の景観』ギャラリートーク。14:00～15:00 @特別展示室/サイエンス・バー[人間市博物館ボランティア会] 13:30～15:00 @こども科学室

9月26日(日) 抹茶Air点前と邦楽演奏会[人間市三曲連盟・人間市茶道連盟・「交差する風」織りなす場] 実行委員会] 11:00～11:30 @方丈庵/特別展『野生植物で語る武蔵野の景観』ギャラリートーク。14:00～15:00 @特別展示室/リーフで入れた冷茶振る舞い @方丈庵 13:30～15:30 [日本茶インストラクター協会埼玉支部]/「利休の茶室」「文人煎茶の茶室」「掛け茶屋」内部公開 10:00～15:00 @常設展示室

